

**「課題名 小児急性リンパ性白血病治療における L-asparaginase 関連副作用の
リスク因子および副作用治療薬の有効性・安全性の解析」**

○ 研究の意義・目的

本研究の目的は、小児急性リンパ性白血病に対して L-asparaginase (L-asp) 使用した際に発現する副作用（高血糖、高脂血症、膵炎等）のリスク因子を明らかにすることです。また、副作用の発現頻度、発現時期、副作用に対して治療目的で投与された薬剤の有効性と安全性を調べます。副作用リスク因子と有効な副作用治療薬を明らかにすることで、L-asp による小児急性リンパ性白血病治療の副作用による中止の回避および予防策の確立に貢献できます。

○ 研究対象者

2010 年 1 月から 2022 年 3 月 31 日までに、広島大学病院に入院し、L-asp による治療を受けた方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は患者基本情報、血液検査データ（肝機能、腎機能、血糖、TG 等）、治療内容です。研究は広島大学病院薬剤部のみで行います。

（個人が特定出来る状態では解析に用いません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間 委員会承認後～2026 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5579

広島大学 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 山田 堇（研究担当者）